

教科名	数学	単位数	2単位	担当者	寺尾智彦 浅野 一晃 佐々木 規仁 齋藤 正浩 川上 博道 小林さくら
科目名	数学B	学年・学級	2年次・全		
使用教科書 副教材等	数学B（数研出版） 新課程 教科書傍用 サクシード 数学Ⅱ+B+C（数研出版） 新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B+C（数研出版） 項目別学習ノート ベクトル（数研出版）				
1 学習の到達目標（育成すべき資質・能力）					
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１） 数列、ベクトル、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （２） 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 （３） 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
2 学習の評価（評価基準と評価方法）					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力、判断力、表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	数列、ベクトル及び統計的な推測において、事象を数学的に考察し、表現し処理する方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	数列、ベクトル及び統計的な推測における考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数列、ベクトル及び統計的な推測における考え方や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、数学の事象の考察に活用しようとする		
主 た る 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の観察 各種テスト 各種課題 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の観察 各種テスト 各種課題 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の観察 各種テスト 各種課題 		
占 め る 割 合 に	約34%	約34%	約32%		
3 学習の目標と振り返り					
	≪目 標≫ ～何ができるようになりたいか具体的に～		≪振り返り≫ ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

※「3の学習の目標と振り返り」について
各種試験後のレポートにて実施します。

4 学習の内容						
期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価基準	評価方法
		a	b	c		
4	数列 「漸化式」	◎	◎	○	<p>【知識・技能】</p> <p>①いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解することができる。</p> <p>②漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。</p> <p>③数学的帰納法について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。</p> <p>②事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。</p> <p>③自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、上記の事項を身に付け活用しようとしている。</p>	<p>授業中の観察、各種テスト、各種課題</p> <p>授業中の観察、各種テスト、各種課題</p> <p>授業中の観察、各種テスト、各種課題 単元テスト全体(5月上旬) 単元テスト全体(6月中旬)</p>
8	数学B 発展学習 ベクトル	◎	◎	○	<p>【知識・技能】</p> <p>①平面上のベクトルの意味、相当、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解することができる。</p> <p>②ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解することができる。</p> <p>③座標及びベクトルの考え方が平面から空間に拡張できることを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。</p> <p>②ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。</p> <p>③数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、上記の事項を身に付け活用しようとしている。</p>	<p>授業中の観察、各種テスト、各種課題</p> <p>授業中の観察、各種テスト、各種課題</p> <p>授業中の観察、各種テスト、各種課題 単元テスト全体(10月中旬)</p>
1	統計的推測 ※授業の進度によっては、数学Ⅱへ移動することもある 2月より 数学Ⅲ 先行学習 (複素数平面) のグループと 数学B 総合演習 に分かれ学習	◎	◎	○	<p>【知識・技能】</p> <p>①標本調査の考え方について理解を深めることができる。</p> <p>②確率変数と確率分布について理解することができる。</p> <p>③二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。</p> <p>④正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。</p> <p>②目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基に、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①統計的な推測について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、上記の事項を身に付け活用しようとしている。</p>	<p>授業中の観察、各種テスト、各種課題</p> <p>授業中の観察、各種テスト、各種課題</p> <p>授業中の観察、各種テスト、各種課題</p>